

～安全衛生対策強化月間～ 心を込めて「ご安全に」

ご安全に 2024年の年が明けた1月1日、令和6年能登半島地震が発生しました。地震によって亡くなられた方々に衷心よりお悔やみを申し上げますとともに、被災された全ての方々にお見舞いを申し上げます。

さて、加盟組合・構成組織、県本部・県センター皆さんの連日のご奮闘に心より敬意を表します。基幹労連の仕事始め1月5日、本部役職員で水天宮へ安全祈願に行ってまいりました。二礼二拍手一礼に込めた思いは、基幹労連に関わる全ての仲間の安全と健康。1年間の無災害、そして何より死亡災害ゼロをお祈りしてまいりました。

こうしたなか、2月は「安全衛生対策強化月間」です。安全衛生に関しては、多くの事業所で個々人も含め、誓いを立てて祈る「誓願」を行っています。そのもとで、安全衛生方針にもとづいた無災害職場の確立に向け種々の取り組みを進めていただいています。そうした努力にも関わらず、昨年、基幹労連に関係する事業所で7人もの尊い命を失うこととなりました。そして、今年に入りすでに2件2人の死亡災害が発生してしまいました。

安全衛生対策は、安全を確保することが目的の1つです。そのためには、まず労働災害の起きる原因を知らなければなりません。災害は、設備・機器、作業環境が不安全な状態、作業者の不用意な行動が原因となって発生します。多くの場合、この2つの原因が重なったときに発生すると言われています。職場の安全ルールを守り、設備機器や作業環境を不安全な状態で放置せず、規律ある行動を徹底するようお願いいたします。

また、安全衛生対策は、健康を維持することも目的の1つです。そのためには、安全と同様に病気が発症する原因を知らなければなりません。病気は、栄養バランスの悪い食事や睡眠不足、運動不足など生活が不規則となっている状態、健康を損なう不衛生・不健康な環境が原因となって発症することが多いと言われています。自分の健康は自分で守ることを心がけ、不衛生・不健康な環境状態にしないようにし、不規則な生活を正して、健康の確保と維持に努めてください。

いよいよAP24春季取り組みがスタートします。厳しい交渉が予想されますが、整斉と労使交渉を進めるためにも、今一度、私たち労働組合の全ての取り組みの礎は「安全と健康の確保」にあることを認識し合い「安全衛生対策強化月間」が、より効果的な取り組みとなるようさらなるご尽力をお願いします。

安全活動にゴールはありません。しかし、続けなければ、我が身と仲間を「守る」ことはできません。個々人で見ればゴールは無事に定年退職を迎える時だと思えます。

労働組合の究極の目的「組合員とその家族の幸せ追求」、無事に定年退職を迎える日まで、心を込めて「ご安全に」。

2024年2月1日
日本基幹産業労働組合連合会
事務局長 石橋 学